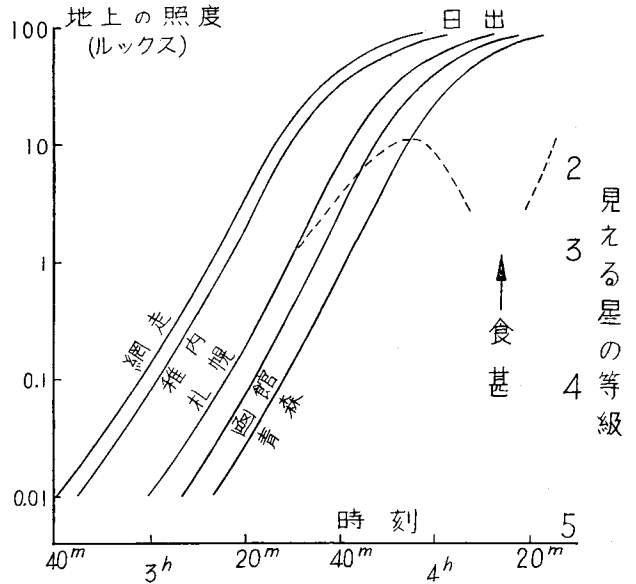


☆7月の天文暦☆

日時	主な天文現象
7 7	部分月食 (日本でみられる)
〃 〃	望
10 4	月 土星の 2° 南をとおる
14 4	月 木星の 4° 南をとおる
14 7	水星 外合
14 11	下弦
12 5	皆既日食 (関西より東でみられる)
〃 6	朔
25 19	月 火星の 5° 北をとおる
26 18	海王星 留
28 22	上弦
27~31	みずがめ座流星群



日食の地上の明るさ

日食のあいだ地上はかなり暗くなる。7月21日の日食では、食甚の時刻が日出とほとんど重なるから、とくに明るさがめずらしい変化を示すだろう。図は地上の照度が時刻とともに変化するようすで、曲線はそれぞれの地点で平常の日におこるものをあらわす。ところが日食の時、たとえば札幌では、食甚が4時14分にあるた

め、照度は点線のように変わるだろう。これは天頂に向けた照度計や敏感な露出計で測ったり、見える星の等級をしらべたりしてもとめることができる。

付記 先月の欄にしるしたコロナのスケッチや、ここにしるした測定の良い結果が得られたら、東京天文台までにお送りください。日食のばあいでも、太陽を望遠鏡や双眼鏡で見るには濃いサングラスをとおすすめ。皆既中のコロナは、サングラスを外さぬと見えない。

東京における日出入および南中 (中央標準時)

7月	夜明	日出	方位	南中	高度	日入	日暮
日	時 分	時 分	°	時 分	°	時 分	時 分
1	3 50	4 28	+20.7	11 45	77.6	19 1	19 39
11	3 55	4 33	+28.6	11 46	76.7	18 59	19 37
21	4 2	4 40	+26.6	11 47	75.2	18 54	19 32
31	4 10	4 47	+23.9	11 47	73.1	18 47	19 24

各地の日出入補正值 (東京の値に加える)

(左側は日出, 日入に対する値)

分	分	分	分
鹿児島 +46	+26	鳥取 +22	+21
仙台 -12	+2	福岡 +43	+31
大阪 +20	+14	青森 -18	+10
広島 +32	+25	名古屋 +12	+9
札幌 -28	+14	高知 +30	+19
新潟 -4	+8	根室 -46	-2

